

◆ 献血の種類

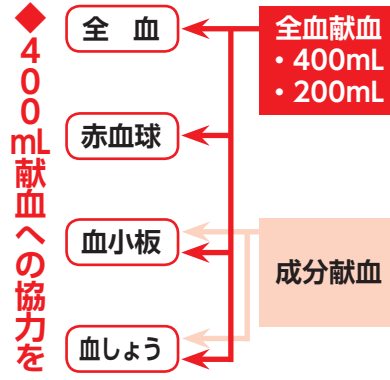
献血は「全血献血」と「成分献血」に大きく分類されます。

◆ 全血献血

血液中の全ての成分を採血します。200 mLの場合は、16歳から献血できます。

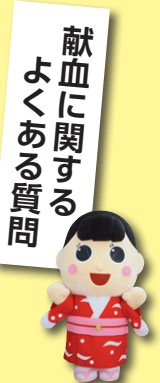
◆ 成分献血

血液中の特定の成分（血小板、血しょう、またはその両方）だけを取り出し、回復に時間が掛かる赤血球は体内に戻します。全血献血よりも体への負担が軽い献血です。



◆ 400 mL献血への協力を

一人一人の血液は、血液型が同じでも微妙に異なるため、複数献血者の血液を一人の患者に輸血するほど、副作用（発熱、発疹など）が発生する可能性が高まります。安全性向上のためにも、400 mL献血への協力をお願いします。



献血に関するよくある質問

問 献血にはどのくらいの時間が掛かるの？

答 献血に掛かる時間は、400 mL献血の場合、受け付けから採血後の休憩までで15〜40分（成分献血は約90分）。実際に針を刺している時間は、平均で5分〜15分です。

問 薬を飲んでいるんだけど献血できるの？

答 薬を飲んでいると「献血できない」と思われがちですが、ビタミン剤や一般的な胃腸薬などは内服していても特に支障を来さないため、献血できます。病気や薬の種類によって献血できない場合もあるので、受付時に相談してください。

問 誰かがやるから自分はやらなくても大丈夫かな？

答 特に冬から春にかけては体調を崩して服薬する人が多いため、献血者が減少し、長期保存できない輸血用の血液が不足します。誰かではなく「あなた」の協力が必要です。

私の元気を少しでも分けてあげたい



187回の献血経験者
齋田敬子さん (下比木)

私は、短大生の時に学校の近くに献血ルームがあったことがきっかけで、献血を始めました。最近では、成分献血を中心に2週間に一度献血しています。献血後は血液の検査結果が送られてくるので、健康管理にも役立っています。献血できるということは、健康だという証拠。いつまでも献血ができるわけではありませんが、元気な自分の血液を必要としている人に使ってほしい。「誰かが少しでも元気になってくれたら」と思うと、今後も続けていきたいですね。

あなたも誰かのヒーローになれる！



静岡県赤十字血液センター
園田大志さん (浜松事業所)

県内では、毎年献血者数が減少していて、このままでは、輸血を必要としている人に血液が行き渡らない可能性もあるため、危機感を持っています。献血をしていただいた人には、後日、血液検査の結果をお送りしていて、ご好評いただいています。献血を始めるきっかけにしてもらえたらうれしいです。献血最大のメリットは「人の命を救うことができる」ということです。あなたも誰かのヒーローになれる、それが献血です。皆様のご協力をお待ちしています。

献血は 命の懸け橋

献血は、日本赤十字社が稼働している献血バスと常設の献血ルームで受け付けています。

◆ 献血バス

日時… 8月14日(金) 9時30分～11時45分、13時～16時 場所… 御前崎市役所
※その他のスケジュールについては、国保健康課へお問い合わせください。

◆ 献血ルーム(西部地区)

- ・「献血ルーム・みゆうず」(浜松市中区板屋町110-5 浜松第一生命日通ビル1階)
※献血時間、定休日はお問い合わせください。フリーダイヤル ☎ 0120(930)150
- ・静岡県赤十字センター浜松事業所(浜松市東区中里町1013番地)
受付日… 月、水、土(祝日を除く) 受付時間… 8時30分～16時(成分献血は15時45分まで)

